

2009年度卒業論文発表会プログラム

—生物環境学科 地域環境科学講座—

日時：2010年2月19日(金) 8時50分～16時30分 場所：301講義室

報告方法：15分(発表12分、質疑3分)(予鈴：10分、本鈴：12分、終鈴：15分)

番号	時間	発表者	分野	発表題目
8:50～ 9:00 開 会				
1	9:00～ 9:15	杉 崎 匠	計画	生ごみ再生利用による様々な効果と、その推進に関する考察 —鶴岡市を事例として—
2	9:15～ 9:30	赤 石 蘭	農地	新型汎用化水田における硫黄酸化細菌と硫酸還元菌の共存
3	9:30～ 9:45	秋 元 宏 文	計画	農村地域における住民主体の環境保全活動の可能性に関する考察
4	9:45～10:00	岩 間 和 典	計画	公民館の運営に関する考察—鶴岡市を事例に—
5	10:00～10:15	及 川 達 也	地理	地域における自治体情報受信の状況分析と効率的な情報周知に関する考察
6	10:15～10:30	大 槻 知 弘	河川	砂防ダム下流部における二価マンガン濃度増減に関する実験的研究
休 憩				
7	10:45～11:00	片 倉 健 智	河川	早田川上流域の落葉流出特性に関する水文学的検討
8	11:00～11:15	工 藤 詩 織	地理	観光資源から見た観光地域サイクルの考察 —長野県軽井沢町を事例として—
9	11:15～11:30	後 藤 日向子	演習林	焼畑跡地における木本類の侵入実態
10	11:30～11:45	佐 藤 純 平	演習林	羊によるスギ幼齢林における育林放牧の効果
11	11:45～12:00	篠 原 樹	河川	赤川水系山地溪流における溪流魚の捕獲効率の検討と応用
12	12:00～12:15	鈴 木 諒	生態	収穫保続可能な人工林における生物多様性 ～山形大学演習林の昆虫から考える～
昼 食 休 憩				
13	13:00～13:15	関 根 和 貴	地理	温室効果ガス可視化を表す指標と消費者意識 —農林水産省の政策を参考に—
14	13:15～13:30	田 中 渉	演習林	積雪環境の経年変化とスギ人工林に形成されたアテ材の同調性について —山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター上名川演習林における事例—
15	13:30～13:45	千 葉 翔	生態	ニセアカシア種子における休眠と非休眠の生産比率 —個体による違いと河川周辺における分布状況—
16	13:45～14:00	角 田 哲 也	計画	飼料用米プロジェクトが山形県庄内北部に及ぼす影響 —産業連関表による分析—
17	14:00～14:15	鶴 岡 絵 理	地理	「森の幼稚園」を通してみた幼児期の自然体験に関する考察
18	14:15～14:30	西 山 孝	計画	騒音問題解決におけるサウンドスケープ活動のあり方に関する考察
休 憩				
19	14:45～15:00	橋 本 紗 希	農地	転換畑地における脱窒菌による硝酸態窒素除去量の算定
20	15:00～15:15	畠 山 智 仁	地理	新潟くろさき茶豆のブランド化における課題 —鶴岡だだちゃ豆との比較を通して—
21	15:15～15:30	矢 口 諒	演習林	無牧柵林間放牧において水飲み場の移動が放牧牛の行動圏に与える影響
22	15:30～15:45	山 田 興 也	河川	庄内平野南東部におけるホトケドジョウの生息状況
23	15:45～16:00	小 林 慎 哉	生態	GISを利用した山村の変貌の把握—鶴岡市温海地区を対象とした試み—
24	16:00～16:15	Maydra Alen Inail	ガジヤマダ大学	Dormancy break mechanisms of seeds buried for four years underground in Black locust (<i>Robinia pseudoacacia</i>)
16:15～16:30 講 評 ・ 閉 会				

☆ 休憩時間以外は入退室禁止(報告者といえども途中の入退場はできない)。

☆ 2, 3年次生は各回(休憩から休憩まで)ごとに入場時に出欠カードを受け取り、番号、氏名を記入して退場時にボックスに入れること。